



## 2023年1月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年9月14日

上場会社名 株式会社エージェント 上場取引所 東  
 コード番号 7098 URL https://agent-network.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 四宮 浩二  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 執行役員 (氏名) 山下 雄也 (TEL) 03 (3780) 3911  
 中間発行情報の提出予定日 2022年10月31日 配当支払開始予定日 -  
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年1月期中間期の連結業績(2022年2月1日~2022年7月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年1月期中間期	2,649	-	141	48.2	143	45.8	80	42.1
2022年1月期中間期	2,061	-	95	-	98	-	56	-

(注) 包括利益 2023年1月期中間期 80百万円(42.1%) 2022年1月期中間期 56百万円(-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2023年1月期中間期	16.16	-
2022年1月期中間期	11.38	-

(注) 当中間連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しており、2023年1月期中間期に係る各数値については、当該基準等を適用した後の数値となっており、売上高の対前年同期増減率は記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年1月期中間期	2,391	336	14.1	67.26
2022年1月期	1,991	307	15.5	61.55

(参考) 自己資本 2023年1月期中間期 336百万円 2022年1月期 307百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2022年1月期	0.00	10.45	10.45
2023年1月期	0.00		
2023年1月期(予想)		5.38	5.38

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年1月期の連結業績予想（2022年2月1日～2023年1月31日）

(%表示は対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	5,080	-	136	△46.4	138	△48.7	89	△48.8	17.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 2023年1月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年1月期中間期	5,000,000株	2022年1月期	5,000,000株
② 期末自己株式数	2023年1月期中間期	-株	2022年1月期	-株
③ 期中平均株式数(中間期)	2023年1月期中間期	5,000,000株	2022年1月期中間期	5,000,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
① 中間連結損益計算書	6
② 中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、感染症対策の進展から、経済社会活動の正常化が進み、景気の持ち直しの動きが期待されるものの、地政学リスクの高まりによる経済活動の抑制の影響も懸念され、原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクの可能性もあることから、個人消費や企業の設備投資に及ぼす影響は今後も長期化することが懸念されています。

当社グループが属する人材サービス業界におきましては、2022年6月の有効求人倍率（季節調整値）は1.27倍、完全失業率（季節調整値）は2.6%となり、経済社会活動の正常化に伴い人材需要は徐々に回復傾向にて推移しました。

このような市場環境のもと、当社グループは「困った」を解決するというミッションに基づき、デジタル化や、キャリア形成、働き方改革、産業創出といった社会課題に向き合う総合人材サービスが社会に貢献できる大きさを踏まえ、提供価値を拡大することを通じて持続可能な社会の実現に注力して参りました。主力となるプロダクション事業領域では、自治体や教育機関に向けたICT支援サービスが好調に推移したことに加え、一般消費者のデジタルシフトや、中小企業のDX支援を行う新規プロジェクトの受注が増加いたしました。またキャリア事業領域では未経験IT人材に加え高度IT人材の転職支援実績も好調に推移いたしました。パートナー事業領域においては在宅ワーカーを活用したリモートセールスサービスでサービス拡充などを行い受注数が増加いたしました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は2,649,636千円（前年同期は、2,061,454千円）、営業利益は141,879千円（前年同期比48.2%）となり、経常利益は143,759千円（前年同期比45.8%）、親会社株主に帰属する中間純利益は80,822千円（前年同期比42.1%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ 399,301 千円増加し、2,147,244 千円となりました。これは主に売掛金が 260,865 千円、現金及び預金が 175,296 千円増加した一方、短期貸付金が 35,000 千円減少したこと等によるものです。

##### (固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ 526 千円増加し、244,142 千円となりました。これは主にソフトウェアが 53,772 千円、敷金及び保証金が 4,139 千円増加した一方、ソフトウェア仮勘定が 46,096 千円、繰延税金資産が 8,892 千円減少したこと等によるものです。

##### (流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ 270,023 千円増加し、1,437,157 千円となりました。これは主に買掛金が 137,201 千円、1年内返済予定の長期借入金が 45,500 千円、契約負債（前連結会計年度は前受金）が 110,672 千円増加した一方、短期借入金が 30,837 千円減少したこと等によるものです。

##### (固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ 101,231 千円増加し、617,920 千円となりました。これは主に、長期借入金が 101,734 千円増加したこと等によるものです。

## (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ 28,572 千円増加し、336,309 千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益の計上により繰越利益剰余金が 80,822 千円増加した一方、配当金の支払により繰越利益剰余金が 52,250 千円減少したことによるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ175,296千円増加し、1,411,552千円となりました。

また、当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、106,546 千円の収入（前年同期は、152,431 千円の収入）となりました。

これは、主に税金等調整前中間純利益 143,759 千円を計上したことに加え、契約負債の増加 110,672 千円、仕入債務の増加 137,201 千円による資金の増加、売掛債権の増加 260,865 千円による資金の減少等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、5,106 千円の収入（前年同期は、19,894 千円の支出）となりました。

これは、主に短期貸付金の回収による収入 35,000 千円、無形固定資産の取得による支出 23,298 千円、敷金及び保証金の差入による支出 5,061 千円等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、63,644 千円の収入（前年同期は、4,903 千円の収入）となりました。

これは、主に長期借入れによる収入 200,000 千円、長期借入金の返済による支出 54,436 千円、配当金の支払による支出 52,250 千円等によるものです。

## (3) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明

2023年1月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年3月16日に公表した業績予想から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年1月31日)	当中間連結会計期間 (2022年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,236,256	1,411,552
売掛金	442,580	703,446
仕掛品	2,136	—
短期貸付金	35,000	—
その他	34,908	36,250
貸倒引当金	△ 2,938	△ 4,005
流動資産合計	1,747,943	2,147,244
固定資産		
有形固定資産		
建物	47,019	47,019
その他	16,406	17,938
減価償却累計額	△ 22,594	△ 25,823
有形固定資産合計	40,830	39,133
無形固定資産		
ソフトウェア	47,019	100,792
ソフトウェア仮勘定	64,153	18,056
無形固定資産合計	111,173	118,848
投資その他の資産		
投資有価証券	6,074	6,074
敷金及び保証金	68,320	72,459
繰延税金資産	14,167	5,275
その他	8,980	8,092
貸倒引当金	△ 5,930	△ 5,740
投資その他の資産合計	91,612	86,160
固定資産合計	243,616	244,142
資産合計	1,991,559	2,391,386

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年1月31日)	当中間連結会計期間 (2022年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	252,393	389,594
短期借入金	39,167	8,330
1年内返済予定の長期借入金	102,192	147,692
未払費用	133,995	160,539
未払法人税等	102,326	54,044
未払消費税等	93,087	42,275
前受金	377,708	—
契約負債	—	488,380
役員賞与引当金	10,316	—
解約調整引当金	11,575	—
その他	44,371	146,300
流動負債合計	1,167,134	1,437,157
固定負債		
長期借入金	514,502	616,236
その他	2,186	1,684
固定負債合計	516,688	617,920
負債合計	1,683,822	2,055,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
利益剰余金	257,736	286,309
株主資本合計	307,736	336,309
純資産合計	307,736	336,309
負債純資産合計	1,991,559	2,391,386

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## ①中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)
売上高	2,061,454	2,649,636
売上原価	1,422,288	1,819,844
売上総利益	639,166	829,791
販売費及び一般管理費	543,415	687,911
営業利益	95,750	141,879
営業外収益		
受取利息	3	74
助成金収入	5,506	4,358
その他	627	2,551
営業外収益合計	6,137	6,984
営業外費用		
支払利息	2,235	2,109
長期前払費用償却	569	735
為替差損	227	660
損害賠償金	—	1,500
その他	261	98
営業外費用合計	3,294	5,104
経常利益	98,594	143,759
税金等調整前中間純利益	98,594	143,759
法人税、住民税及び事業税	43,285	54,044
法人税等調整額	△ 1,580	8,892
法人税等合計	41,705	62,936
中間純利益	56,889	80,822
親会社株主に帰属する中間純利益	56,889	80,822



## ②中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)
中間純利益	56,889	80,822
中間包括利益	56,889	80,822
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	56,889	80,822
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	50,000	85,113	135,113	135,113
当中間期変動額				
剰余金の配当		△ 1,600	△ 1,600	△ 1,600
親会社株主に帰属する 中間純利益		56,889	56,889	56,889
当中間期変動額合計	—	55,289	55,289	55,289
当中間期末残高	50,000	140,402	190,402	190,402

当中間連結会計期間(自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	50,000	257,736	307,736	307,736
当中間期変動額				
剰余金の配当		△ 52,250	△ 52,250	△ 52,250
親会社株主に帰属する 中間純利益		80,822	80,822	80,822
当中間期変動額合計	—	28,572	28,572	28,572
当中間期末残高	50,000	286,309	336,309	336,309

## (4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	98,594	143,759
減価償却費	8,536	16,749
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,097	877
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,158	△ 10,316
解約調整引当金の増減額 (△は減少)	5,660	—
受取利息	△ 3	△ 74
支払利息	2,235	2,109
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 26,539	△ 260,865
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 28,357	2,136
仕入債務の増減額 (△は減少)	71,624	137,201
未払費用の増減額 (△は減少)	24,411	28,496
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△ 75,394	△ 50,811
前受金の増減額 (△は減少)	48,899	—
契約負債の増減額 (△は減少)	—	110,672
その他	17,649	90,856
小計	158,572	210,790
利息の受取額	3	74
利息の支払額	△ 2,097	△ 1,991
法人税等の支払額	△ 4,047	△ 102,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	152,431	106,546
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△ 1,531
無形固定資産の取得による支出	△ 22,459	△ 23,298
短期貸付金の回収による収入	—	35,000
敷金及び保証金の差入による支出	△ 3,367	△ 5,061
敷金及び保証金の回収による収入	5,969	35
その他	△ 36	△ 36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,894	5,106
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△ 29,167
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△ 92,994	△ 54,436
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△ 502	△ 502
配当金の支払額	△ 1,600	△ 52,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,903	63,644
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	137,439	175,296
現金及び現金同等物の期首残高	908,636	1,236,256
現金及び現金同等物の期末残高	1,046,076	1,411,552

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、顧客への財又はサービスの提供における当社グループの役割が代理人に該当する取引について、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識していましたが、当中間連結会計期間より顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識することとしております。また、人材紹介手数料のうち将来返金されると見込まれる収益の金額について、従来は解約調整引当金として表示しておりましたが、返金負債を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当中間連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、期首残高に与える影響はありません。

この結果、当中間連結会計期間の売上高及び売上原価が267,989千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前中間純利益への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結財務諸表において、「流動負債」に表示していた「前受金」は、当中間連結会計期間より「契約負債」に、「解約調整引当金」は、返金負債として「流動負債」の「その他」に含めてそれぞれ表示しております。また、前中間連結会計期間の中間連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「前受金の増減額(△は減少)」は、当中間連結会計期間より「契約負債の増減額(△は減少)」として表示しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時間算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、「総合人材サービス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当中間連結会計期間より、報告セグメントを従来の「総合人材サービス事業」と「ソフトウェアの受託・開発事業」の2区分から、「総合人材サービス事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、連結子会社である anyenv 株式会社が営む「ソフトウェアの受託・開発事業」について、当社グループの事業展開、経営資源の配分、経営管理体制等の実態を踏まえ、「総合人材サービス事業」における「スタートアップ事業領域」と位置付け、「総合人材サービス事業」の単一セグメントとすることが適切であると判断したことによるものです。

この変更により、当社グループは単一セグメントとなったことから、前中間連結会計期間及び当中間連結会計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。